

# 平成25年度 単位施策評価表

所属 19150000  
生活環境部 交通防犯課

施策	2104 公共交通体系の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	余地有	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
単位施策目的	高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を目指し、コミュニティバス（ふれあいバス）・デマンドタクシー（蔵タク）など便利な公共交通機関の充実等を図る。						
成果指標	①ふれあいバス年間利用者数 ②蔵タク年間利用者数						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	204,000.00	215,000.00	226,000.00	237,000.00	251,000.00
		実績	194,732.00				
	成果指標2 [人]	予定	49,000.00	57,500.00	59,000.00	60,500.00	61,250.00
		実績	56,034.00				
		単位コスト	4.92				
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	273,988			0	0	
	実績	275,669		0	0	0	
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「公共交通の充実に対する市民満足度」を42.6%から60%に向上させるために、利用者数の増加は必要であり本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	蔵タクは達成したが、ふれあいバスについては利用者や地域の要望等を踏まえて、路線の見直し等の改善を実施したが年間利用者数は未達となった。					
	課題	ふれあいバス及び蔵タクの仕組みを理解していただく必要があることから、広報紙等でのPRや地域説明会等を開催し周知徹底を図る必要がある。					
	取組方針	地域説明会や出前講座等を積極的に開催し、ふれあいバス及び蔵タクの仕組みを理解していただき利用者の増加を図りたい。					
外部評価	ふれあいバスについては利用者や地域の要望等を踏まえて路線の見直し等を実施したが、年間利用者数が未達となったのは見直しが不十分だったと考えられる。多額な一般財源を投資していることから、今後は利用状況等をよく分析するとともに、潜在利用者の利用希望の把握に努め、実情にあった路線見直しが必要である。 蔵タク事業については良好と思われるが、今後なお一層のPRを実施し事業推進に努めていく必要がある。 蔵タク・ふれあいバス双方とも、交通弱者である高齢者を対象としているところもあることから、医療機関を対象としたコースや市外の一部を認めた利用の容認を提案します。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	117001	老人福祉センター団体送迎バス運行事業費				3,981	100
	654501	市庁舎整備に伴う蔵タクシステム移設委託費				8,734	100
	116801	蔵タク運行事業費				46,309	92
	116701	ふれあいバス運行事業費				216,645	89



# 事

様式1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020113	予算科目コード	116701	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	ふれあいバス運行事業費												
担当部署	生活環境部 交通防犯課 公共交通対策担当												
係/担当チーム名	公共交通対策チーム												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市コミュニティバス運行補助金交付要綱・道路運送法									

事業の概要	<p>(事業終了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、既(向)を、どういう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)                  地域公共交通連携計画に基づき、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を目指して、ふれあいバスを運行する。                  【主要事業】</p>											
達成目標	<p>(事業期間のない事業は平成30年度)の目標                  ・高齢者等の交通弱者における日常生活の足として定着させる。                  ・本格運行に移行し、更なる利用促進策を検討し、利用者を増加させる。</p>											
成果指標	<p>①ふれあいバス年間利用者数・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で251,000人                  ②蔵タク年間利用者数・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で61,250人</p>											

単位:千円、人	平成24年度	平成25年度	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0	0
県支出金	881	881	881
地方債	0	0	0
その他特財	2,968	4,903	4,903
一般財源	184,310	203,361	203,361
事業費 a	188,159	209,145	209,145
人件費 b	7,500	7,500	7,500
減価償却費 c			
総事業費 a+b+c	195,659	216,645	216,645
結果指標1	180,000.00	194,732.00	194,732.00
結果指標2			

事業の内容	<p>平成24年度                  ・コミュニティバスの試行運行(寺尾線、市街地循環線、部屋線、市街地北部循環線、真名子線、金崎線、大宮国府線、川樋ノ口線、藤岡線)                  ・運行経費に対する補助                  ・運行実績の評価・検証                  ・存廃及び運行内容の検討</p>	<p>平成25年度                  ・ふれあいバスの試行運行(寺尾線、市街地循環線、部屋線、市街地北部循環線、真名子線、金崎線、大宮国府線、川樋ノ口線、藤岡線)                  ・運行経費に対する補助                  ・運行実績の評価・検証                  ・存廃及び運行内容の検討</p>					
その成果	<p>算出方法                  単位                  人                  毎日の利用者数を集計する B25目標値:220,000人</p>						
指標の推移	<p>指標名                  試行運行利用者数</p>	<p>妥当性                  妥当</p>	<p>コスト削減の余地                  無</p>	<p>受益者負担                  余地有</p>	<p>上位貢献度                  有効</p>	<p>類似事業の有無                  無</p>	<p>成果向上の余地                  有</p>

事業改善計画	<p>(改善内容とその効果を具体的に記入)                  ・運行ルートやダイヤの見直し、利用促進策を検討し、利用者増による運賃収入を増加させることにより、試行運行終了後の本格運行への移行を図る。</p>							
事後評価								

事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020113	支辨コード	116801	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策			
事業名	蔵タク運行事業費				暮らしやすい都市の創出								公共交通体系の充実			
担当課	生活環境部				交通安全対策チーム											
担当チーム名	2				自治事務											
事業の性質	2				根拠法令等								事業期間	H23～H29年度	全体事業費	327,071
<p>(事業終了(事業期間の不在(期間は平成30年度)までは、(同)を、どういう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)</p> <p>地域公共交通総合連携計画に基づき、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を目指して、蔵タクを運行する。</p> <p>【主要事業】</p> <p>栃木市デマンドタクシー運行補助金交付要綱・道路運送法</p>																

単位: 千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	882	882
地方債	0	0
その他特別	0	0
一般財源	45,912	37,927
事業費 a	46,794	38,809
人件費 b	7,500	7,500
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	54,294	46,309
結果指標1	200.00	230.00
結果指標2	13,000.00	13,620.00

  

事業費・指標の推移	平成24年度	平成25年度
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会等の開催</li> <li>利用者登録の促進</li> <li>デマンドタクシーの試行運行</li> <li>運行経費に対する補助</li> <li>運行実績の評価・検証</li> <li>存廃及び運行内容の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会等の開催</li> <li>利用者登録の促進</li> <li>蔵タクの試行運行</li> <li>運行経費に対する補助</li> <li>運行実績の評価・検証</li> <li>存廃及び運行内容の検討</li> <li>地域説明会及び出前講座等を開催し利用促進を図った。37回(754名)</li> </ul>
その成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ふれあいいんす年間利用者数・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で251,000人</li> <li>②蔵タク年間利用者数・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で61,250人</li> </ul>	

事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
事業の事後評価	妥当	無	適正	有効	無	有

  

算出方法	単位
指図書名	1日当り利用者数
年間利用者数÷運行日数	人/日
指図書名	利用登録者数
年間利用者数÷運行日数	人

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- 運行エリア等の見直し、利用促進策を検討し、利用者増による運賃収入を増加させることにより、試行運行終了後の本格運行への移行を図る。